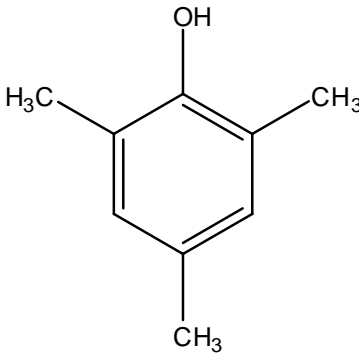


反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験(OECD TG422)データシート

官報公示 整理番号	3-540 4-57 9-1783 9-899	CAS No.	527-60-6
名称 構造式等	名 称：2,4,6-トリメチルフェノール 別 名：2,4,6-Trimethylphenol 分子量：136.20 分子式：C ₉ H ₁₂ O 構造式： <div></div>		
外観	白色微細な針状結晶		
溶解度	水に微溶(1200mg/L、25℃)、アルコール、エーテルに可溶		
分解性	難分解性		
蓄積性	低濃縮性		
純度	99.8%		
用量設定 試験	投与用量	0, 100, 300, 600, 1,000 mg/kg/day	
	投与期間	14 日間	
	主な結果	1,000：腹臥位(), 自発運動低下(), 歩行異常(), 体重 (), 摂餌量 (), 前胃の壁の肥厚(), 胃の境界縁の肥厚(), 前胃粘膜あるいは胃の境界縁の黄色化(), 呼吸不整(), ALT (), 肝臓 g (), 盲腸の膨満(), 胸腺の小型(), ALP (), T-Chol (), TG (), 前胃あるいは腺胃粘膜のびらん・潰瘍 () 600：腹臥位(), 自発運動低下(), 歩行異常(), 体重 (), 摂餌量 (), 前胃の壁の肥厚(), 胃の境界縁の肥厚(), 前胃粘膜あるいは胃の境界縁の黄色化(), ALT (), 前胃ある いは腺胃粘膜のびらん・潰瘍(), 盲腸の膨満() 300：胃の境界縁の肥厚()	
反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験 (ReproTox)			
投与	使用動物	CrI:CD (SD)ラット、投与開始時 9 週齢	
	投与方法	強制経口投与 溶媒：精製水(0.1w/v%Tween80 添加 0.5w/v%CMC-Na)	
	投与用量	0, 10, 60, 300 mg/kg/day, 回復群 0, 300 mg/kg/day (R300)	
	投与期間	42 日間、 42-54 日間 (哺育 4 日)	

反復投与 毒性 主な結果	一般状態	：流涎(300) ：流涎(300), 歩行異常(300)
	行動機能 観察	影響なし
	体重	影響なし
	摂餌量	影響なし
	尿	影響なし
	血液学	影響なし
	生化学	影響なし
	臓器重量	影響なし
	病理組織	：前胃の水腫(300), 腺胃の globule leukocyte (300), 腺胃胃小窩上皮の過形成(300), 前胃扁平上皮過形成(60, 300) ：腺胃のびらん(300), 腺胃胃小窩上皮の過形成(300), 前胃扁平上皮過形成(60, 300)
	標的臓器	胃
生殖発生 毒性 主な結果	親動物	影響なし
	児動物	影響なし
NOAEL		反復投与毒性： 10, 10 生殖発生毒性：300
	推定根拠	反復投与毒性 60：前胃扁平上皮過形成 生殖発生毒性 毒性影響なし
NOEL		反復投与毒性： 10, 10 生殖発生毒性：300
	推定根拠	反復投与毒性 60：前胃扁平上皮過形成 生殖発生毒性 影響なし
備考		

本データは，平成 19 年度ハザードデータ評価委員会（独立行政法人製品評価技術基盤機構）で評価された。